



めむろ議会だより

Memuro Town Assembly information

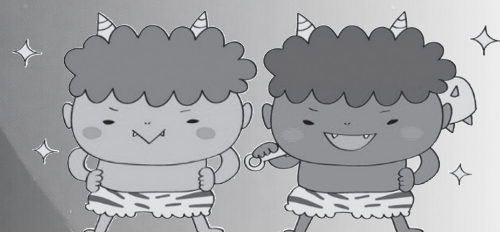


- ・12月定例会議、一般質問
- ・提言書(めむろまるごと給食)
- ・議会モニターの声

P 7 ~ P 8

P 2 ~ P 6

P 7



一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などを町長などに求め、町が住民のための適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。年4回開催される定例会議（6月、9月、12月、3月）で一般質問することができます。

4人が登壇

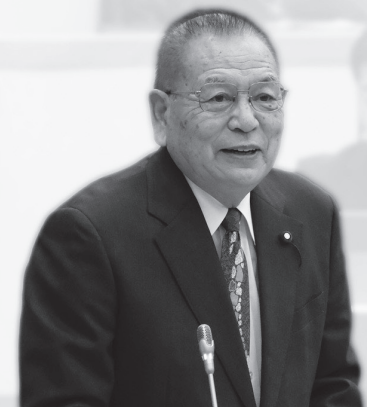
12月定例会議は4人の議員が一般質問を行い、各議員が町政に対する課題や考えを問ひ質しました。

黒田 栄継 議員（P3）



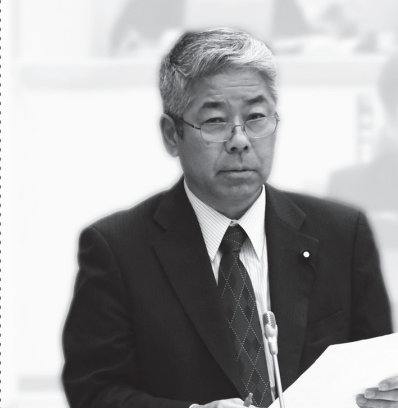
- 1 芽室町教育大綱の推進について

寺町 平一 議員（P4）



- 1 公立芽室病院の経営安定に向けてどう取り組んでいくか
2 農畜産品の大幅な関税削減で市場開放による芽室町農業への影響をどう捉えているか

堀切 忠 議員（P5）



- 1 廃棄物の抑制と適正な処理について

正村紀美子 議員（P6）



- 1 職員の不祥事における町の対応について
2 連携協定締結後の町内会支援について

3月定例会議の予定



3日	9：30～	初日
10日～13日	9：30～	予算審査
17日・18日	9：30～	一般質問
23日	9：30～	最終日

議会傍聴で芽室の未来が見える！



団体や多数で傍聴を希望される方は、資料準備のため事前に議会事務局までご連絡ください。(0155-62-9731)

←インターネット中継はコチラから視聴できます。(過去の録画もあります)

町政を問う



黒田 栄継 議員

芽室町教育大綱の推進に当たり、具体的な取り組みを

教育長／まちづくりは人づくり。「郷育・夢育」をキーワードに各業務を推進し、人と人とながかる教育行政を実現します

質問 教育長の就任挨拶において、『心豊かで次代に輝く芽室の人を地域全体で育む』ために、①コミュニティスクールの推進、②食農教育の推進、③持続可能な地域社会づくりにつながる生涯学習の推進に取り組む』との表明があったが、具体的にはどのようなことに取り組む考えか。

答弁 質問にある3点については、教育行政を推進していく上での重点事項と認識しており、心豊かで次代に輝く芽室の人を育むため、ふるさと意識や自己有用感の醸成、夢や希望の実現へチャレンジする人材育成に向け、「郷育・夢育」をキーワードに各業務を推進する考えです。

推進では、学校を核としたまちづくりや地域コミュニティの活性化につながるよう、学校、家庭、地域、行政が四輪駆動となり、共通理解を図り連携協働する枠組みを工夫し、地域とともにある学校づくりにより、子どもたちの生きる力の育成を図ります。

食農教育の推進は、地域の自然と人間がかかわりながら歴史的に形成されてきた本町の食と農の知恵と技術を学ぶため、芽室町教育研究所を中心に、「めむろ学」として展開するための検討を進めており、小・中9年間を通して、芽室町への愛着や誇り、ふるさと意識の醸成等に努める考えです。

生涯学習の推進は、一流アスリート等の招聘など、生涯を通じた学習機会の提

供や施設を含めた環境の整備により、社会で活躍する人を育み、持続可能な地域社会の作り手を育成します。

これらを継続的に推進するため、今年度立ち上げた学校運営協議会は、校長の運営方針を承認する中で、子どもたちのために学校、家庭、地域、行政が連携できることは何かを中心に議論しており、そこで生み出されたものを、郷育・夢育応援団本部がサポートする体制を構築します。

質問 取組みの推進には、各関係機関・地域住民への理解の促進が重要ではないか。

答弁 様々な課題にもつながる大事なご指摘であり、コミュニティスクールにお

いても家庭や地域への浸透はまだまだ不足しています。コミュニティスクール通信をすべて読んでいただければ、町の考えを理解いただけると思います。全ての方に読んでいただいたり、目に触れたりする機会も少なく、今後は様々な機会を工夫してまいります。



教育委員会のホームページでご覧いただけます

質問 人とのつながりというのを非常に重視した教育方針ととらえるが、これにより、何を育てていくのか。

答弁 人とかかわり、人とながかることは、子どもの主体性や共同性、探求性、社会性を身につける中で、積極的に社会参加を行う人を育てることにつながり、持続可能な社会づくりの基盤になっていくと考えます。

一般質問を終えて
黒田 栄継



教育長の答弁の中の、「まちづくりは人づくり」という言葉、まさにその通りだと考えます。

少子高齢化、人口減少、誰もが経験したことのない状況を受け入れていかなくてはならない中、今後どのような課題が未来を生きる子どもたちに降りかかってくるのか、分りません。

子供たちの「生きる力」を育み、「次代に輝く芽室の人」を育てていくためにも、学校や行政だけではなく、地域全体で取り組むことが大切なのだというのを、今回の質問で確認できたと考えています。

具体的な取組みを通して、子どもたちの未来を町民全体で支えることができるよう、今後もしっかりと取り組んでいきたいと思っています。



寺町 平一 議員

公立芽室病院が再編や統合を議論すべき病院と公表され町民に不安が広がっている

町長／公立芽室病院が本町の保健・医療・福祉の中核機能を発揮し、町民の皆さんに安心感を与えることができるよう経営改革に向け全力で取り組みます

質問 再編や統合を議論すべき公的病院を厚生労働省が公表し、公立芽室病院も含まれたことで、身近な病院がなくなると不安を訴える声があるが、町長の見解は。

答弁 厚生労働省は、ダウンサイジングや、機能の分化、連携・集約化、機能転換・連携等を含むものとしており、単に病院同士の再編や統合を意味してはいません。11月に、急性期病床の60床を回復期病床に全て転換する変更を報告し、厚生労働省の求める病床機能の転換を済ませています。

質問 経営安定に向けた取り組みの成果が見えない。財政支援による財務の健全化や、必要とする高度な医療

機器を導入して患者の受け入れに対応すべき。

答弁 公立芽室病院の改革、あるいは経営改善のために必要な投資はすべきとの考えから、資金不足はできるだけ早期の解消に向けて進めます。高度な医療機器は、現段階で何かを導入すれば右肩上がりになるという状況ではなく、医療スタッフや町民の方々も含めてご意見を伺いながら、公立芽室病院の目指すべき機能などの方針を明確にし、整合性を図るなど十分な議論を積み重ねながら検討すべきと考えます。

質問 医師が慢性的に不足しており、町長も自ら医師の確保に努力しているが、国の医療政策として、医師

が全国隅々まで行き渡るように、国に働きかける必要があると考えるが。

答弁 医師不足は全国的に同じ状況であると認識しています。十勝圏活性化推進期成会においても医師、看護師等の確保を明確に打ち出し、道や国に要望活動を行っています。

市場開放による町内の農家所得影響額を検証し、対策を講ずるべき

町長／本町独自の影響額試算は行わず、国の動向を注視しながら生産基盤の強化に努めます

質問 基幹産業が農業である我が町において、貿易協定の締結により町民の方々は不安を抱いている。芽室町も独自に農家所得影響額を検証し、影響が大きい酪農畜産分野への対策を講ずるべき。

答弁 本町の酪農畜産分野への影響が特に懸念される合意内容であると認識しています。本町独自の影響額試算を行う予定はありませんが、酪農に関する国の補助要件の緩和など、今後示される国からの具体的な対策内容を注視し、関係機関において情報共有し、引き続き生産基盤の強化に努めます。

質問 酪農家の労働力軽減のために、雌雄を産み分けできる精液の導入支援をすべき。

答弁 市場開放の対策とは別の観点で、特殊精液に対する支援要望が高まり、公に実施すべきとの判断ができる場合には検討します。

一般質問を終えて

寺町 平一



●公立芽室病院の経営安定

厚生労働省は全国の公立・公的病院で経営面が芳しくない病院は、再編や統合を議論すべきと公表したが、この中に芽室病院も含まれている。問題や課題が多くある中で、経営安定に向けてどう取り組みようとしているか、質問した。町長からは、時間はかかるが安定維持する強い意志がうかがえた。

●市場開放による芽室町農業への影響

農畜産品の大幅な関税削減で市場開放されるが、芽室町の農業への影響は「心配ない」でいいのか。国は補正予算や次年度予算で国内対策を行うので生産量は変わらないとしている。芽室町の農業への影響額試算を行い、町独自の対策を講ずるべきと質問したが、町長は今のところ試算を行う予定はないとしている。本町にこれで良いのか疑問である。

町政を問う



堀切 忠 議員

ごみ排出抑制に関するキーワードは住民参加とトップの姿勢である

町長／政策立案の際に、住民参加は重要な位置づけであり、ごみ問題は、重要政策・課題に位置づけるかどうか、今後検討すべき課題であると認識しています

質問 芽室町ごみ処理基本計画に基づく、現時点での町の取組みの進捗状況と課題は。

答弁 ごみの発生抑制と再使用に関する町民の意識啓発、回収した資源ごみの再利用状況のPR、芽室町災害廃棄物処理計画の策定などに取り組み、計画の目標に対するごみ発生量の進捗率は99%、リサイクル率の進捗率は88%などとなっていますが、ここ数年のごみの排出量に大きな変化はなく、ごみ減量化に向けた手法の再検討、再構築が課題と考えています。

質問 令和3年度以降のごみ処理基本計画について、どのような手法でどのような方向性で見直すのか。

答弁 これまでの取組みについて課題検証を行い、新中間処理施設整備の考え方と整合を図り、国や道が定める計画等を踏まえ、人口やごみ処理量の推移などを基本として、芽室町環境審議会の意見を伺いながら策定を進めます。

質問 新中間処理施設の整備に向けた検討の進捗状況と町長の見解は。

答弁 十勝圏複合事務組合において新中間処理施設整備基本構想の原案がまとまり、パブリックコメントや住民説明会が予定されています。芽室町を含む構成市町村での議論が重ねられており、基本構想の原案は、現段階では大きな異論もなく、おおむね了承する形で

進んでいるものと認識しており、今後においても、組合議会等で協議を行いながら進めるものと考えます。

質問 ごみ減量化が進まないこと背景・原因は住民の意識が低下しているからではないか。

答弁 分別がリサイクルにつながる認識しながらも、現実には面倒などの理由で行動に移らない場合も考えられることから、ごみ問題の重要性について意識啓発が必要と考えます。

質問 現在の芽室町ごみ処理基本計画の中間見直し時に、目標値は下方修正されているが、総括が不十分ではなかったか。

答弁 計画最終年の目標達成が困難という判断で下方修正されています。目標値の達成を目指し、さらに向上を目指して取り組むべきであり、次期計画に向けて検証を行い、ごみ問題に対する意識啓発、様々な事業や施策について一度立ち止まって考え、原案作りをする考えです。

質問 基本計画の見直しの手法や方向性に関する具体的な施策が示されていない。

答弁 次期計画には、ごみ問題に関心を持ってもらうような施策・事業を盛り込めるよう、今までの検証、課題抽出を進める考えです。

質問 新中間処理施設整備基本構想の説明会を町内で開催し、構想はホームページに掲載すべき。

答弁 事業主体の十勝圏複合事務組合の判断であり、町は一構成団体としてできることを行っている状況です。

一般質問を終えて

堀切 忠



今回は「廃棄物の抑制と適正な処理について」一般質問しました。9月の質問で再生可能エネルギーを取り上げましたが、ごみの排出も環境問題であり、地球温暖化の防止が叫ばれるなか、今後20年、30年とごみを燃やし、温室効果ガスを排出し続けて良いのでしょうか？との思いから取り上げました。

オーストラリアでは山火事が発生し、すでに日本の面積の約半分程度が焼失し、コアラなどの野生動物が大量に死んでいます。北海道でも近年、台風が強大化し、大きな被害が出ています。これらは、地球温暖化が原因であると言われています。くりりんセンターの建て替え問題を契機に、町民の皆様と一緒にごみ問題を考えていきたいと思います。

町政を問う



正村紀美子 議員

職員の不祥事における町の対応は適切だったのか

町長／反省すべき点は反省し、町民の信頼回復と経営改善に努めていきたい

質問 不祥事の発覚後、町民や職員への報告がないまま10月5日に病院まつりが開催されたが、病院まつりの成果についてどのように総括したか。

答弁 病院まつりは院内で実行委員会を立ち上げ準備をしており「公立芽室病院を身近に感じていただく」という所期の目的は達成されたものと考えています。

質問 公立病院という公的施設にカメラが設置されていた。盗撮を目的としたカメラの設置により町は被害を被っていると考えるが、町長の見解は。

答弁 発覚から処分に至る経過では迅速な処分をすべきと判断し、その対応を中心に進めてきましたが、病院スタッフに対するケアが

遅れたことはお詫びいたします。また発覚時点での町への直接的な被害については大きく認識できず、当事者の処分を優先し警察への被害届を見合わせていましたが、患者や家族、病院スタッフ、町民など多くの方々も被害を被っていると考え、被害届の提出に至りました。

質問 ホットボイスでは町の対応について疑問視する声が届いていたが、今でもこれまでの対応については最善の策と考えているか。

答弁 その時点で想定できる最大限の要素をもって判断し、その経過については町民や議会、外部への情報公表を適切に行ったと考えています。

しかし一連の事件について町民に混乱とご心配をかけたこと、今後の病院経営

に多大な影響を与えたことに対して任命権者として自己罰も検討するとともに、病院の信頼回復と経営改善に取り組んでまいります。

町内会活動支援は新たな段階に入っているのではないか

町長／町内会連合会と協議を重ね、支援策を検討し具体化していきます

質問 平成16年3月に行政区長制度を廃止し、時代に応じた地域支援を実施してきたが、これまでの取組みと住民自治の実現について町の見解は。

答弁 行政区長制度廃止後は、自治振興報償制度や公共サービスパートナー制度を創設し、住民自治が醸成されてきたと考えます。しかし近年町内会加入率の低下が課題となっており、町としても側面支援に力を入れているところです。

質問 連携協定締結によって町の町内会への支援は、具体的に明確になった。住みよいまちづくりを目指すパートナーとして町内会の位置づけはどのように変化したのか。

答弁 町内会は任意組織とはいえ、極めて重要な地縁組織で住民自治の根幹をなすものです。町内会連合会が実施している町内会加入促進策へ支援するなど、今後も協定の実現に向けて具体的な支援を検討していきます。

一般質問を終えて
正村紀美子

●病院職員の不祥事について

被害届の提出は事案発生效后2ヶ月が過ぎてからです。今回の反省は今後の町の対応に活かし、病院の信頼回復、経営改善は最優先課題として取り組んでいきたい。

●町内会支援について

町内会加入率の低下によつて町内会に加入している世帯とそうでない世帯に情報格差や、いざという時の対応に差が出ることを懸念しています。町内会は行政からの依頼に基づく委員等の推薦や情報の周知などを担っており、町内会加入率が50%台となった現状ではこれまでのような支援体制では限界がきています。現状に応じた支援を新たに構築する必要があると思います。

総務経済常任委員会

第18回 1月17日(金)
第19回 1月24日(金)

調査内容 新嵐山スカイパークの活用計画案について 他

商工観光課から、新嵐山の将来ビジョンとなる計画案について説明を受け、施設整備の方向性、管理運営手法などについて質疑がなされました。今後、整備にかかる予算や、町民意見の反映など引き続き調査を行います。

労働力不足に関する調査を実施(1月24日)

本町の農業分野における労働力不足の現状及び対策などについて、芽室町農業協同組合において勉強会の形で調査を行いました。今後は芽室町商工会との勉強会も予定しており、委員の共通認識を図りつつ労働行政への提言につなげる考えです。



ご対応ありがとうございました

厚生文教常任委員会

第17回 1月23日(木)

調査内容 合同納骨塚について 他

住民生活課からアンケート結果が示されました。委員からは調査対象が違うのではないかなどの質疑があり、今後も調査を継続する考えです。

食料購入事業(めむろまるごと給食)に対する提言書

学校教育課から示された、新年度の取組み予定に対し、住民のニーズを把握せず、具体的な充実策が明確ではない状態での実施回数や予算の削減は、食農教育の充実という観点の後退である、などの見解が委員間で一致し、教育委員会に提言を行いました。



教育長に提言書を手交

提言書

『本町が平成17年より実施している「めむろまるごと給食」は、地元産の食材を活用し、本町の基幹産業である農業への理解を深め、食の安心安全を学び、食への興味・関心を高められる食育活動として、これまで多くの子どもたちへ提供されてきた。しかしこれまでの委員会調査において、実施回数を年間9回から5回の実施とすること、内容充実のため児童生徒一食あたりの食料費負担額を200円から250円へと変更すること、併せて、事業内容を充実させる考えであることが示されたところである。』

調査後の委員間討議においては、次の点が課題として挙げられた。

- ①町民(児童・生徒、保護者)ニーズ、意見の把握が行われていないこと
- ②次年度の事業充実策の内容が不透明であること

1. 令和2年度の「めむろまるごと給食」は、現状の実施回数を維持すること。
なお、内容充実のために適切な食料費とすることは理解するものとする。
2. 令和2年度中に、次の点に配慮し令和3年度に向けた事業の見直しを行うこと。
(1)町民(児童・生徒、保護者)の意見を聴取し理解を得ること。
(2)めむろまるごと給食の事業目的を明らかにし、その回数が減った場合にも、補完する具体的な取組みをもって、本町の食農教育が後退するものではないと町民に説明できること。』



提言書はこちらからご覧いただけます。

議会 モニターの声

子どもたちが安心して暮らせるまちづくりを



渡邊しのぶ モニター

昨年度に引き続き、2回目の議会モニターをさせていただきます。年に3回ですが、毎回議員さんたちと芽室町の未来についてお話をする機会はとても貴重で、楽しい時間となっています。

教育に関わる立場として、また共働きで子育てをしている立場からも、芽室町の子どもたちが安心して暮らせるまちづくりにこれから興味をもって議会の傍聴など関わっていききたいと思っています。

議会 モニターの声

思いの共有が広がる
まちに



畠山 大輔
モニター

議会に初めて足を運びました。まず驚いたのは、傍聴席がびつしりと埋まっていたことです。当日の議題によるものだったかもしれませんが、町政に対し、関心の高い方が多かったことを大変うれしく思います。

気付いた点は、議場内での言葉の言い回しが自分には少し難しいと感じたことです。そして長い！傍聴席で見ると内容は質問内容をまとめた書類が頂けてまだ良いのですが、インターネットでの配信では分かりづらい点が多いです。勉強不足は承知しておりますが、もう少し砕けた表現はできないでしょうか？特に学

生さんが見学に来ていた時にはお願いしたいです。
モニター会議は、自分が普段思っている事が共有できる良い機会です。思いを共有することを町全体に広げていきたいです。

傍聴席には報道席も 設けられて



太田 貢
モニター

今回、議会モニターとして定例会議に何度か足を運びました。雰囲気は、ドラマに出てくるような裁判所のような独特な感じで、議員さんと、町長をはじめとする役場側の人たちが向かい合わせになり、議員席の後ろには私が座った傍聴席がありました。一番に驚いたのは、傍聴席に報道席が設けてあった事です。その後も何度か足を運びましたが、どれも町の大事な議件を話していて、緊迫するような内容でした。

議会白書

令和2年1月 延べ13時間57分活動しました！

会 議 名			日 時	休憩 時間	実質 時間	議 件	傍聴 人数	ネット中継 アクセス数
			会議時間					
常 任 委 員 会	厚生 文教	第17回	1月23日 9:30～17:03	3:17	4:16	1. 芽室町公営住宅等長寿命化計画の見直しについて 2. 合同納骨塚について 他	2	118
	総務 経済	第18回	1月17日 13:00～13:13	0:00	0:13	1. 12月定例会議の振り返りについて 2. P T Aとの意見交換について	0	7
		第19回	1月24日 9:30～0:06	0:13	2:33	1. 新嵐山スカイパーク活用計画案について 2. 幹線防風林整備計画について 他	2	39
議 会 運 営 委 員 会		第19回	1月16日 13:30～15:33	0:15	1:48	1. 白樺学園高校との連携協定事業について 2. 議会ホームページの更新について 他	0	3
		第20回	1月27日 9:30～11:49	0:14	2:05	1. 令和元年芽室町議会定例会 2月臨時会議の運営について 2. 議会だより 2月号の編集について 他	1	34
全 員 協 議 会		第12回	1月22日 9:30～11:12	0:10	1:32	1. 白樺学園高校との連携協定事業について 2. 議会ホームページの更新について 他	0	47
小 計			16:36	4:09	12:27		計5	平均41.3
芽 室 町 議 会 議 員 研 修 会			1月17日 14:00～15:30	0:00	1:30	・ 君島雄一郎氏－ 「新機能を学んで快適なクラウド活用を」 「電子採決システム デモ」		
小 計			1:30	0:00	1:30		計5	平均41.3
合 計			18:06	4:09	13:57		計5	平均41.3



表紙写真

芽室町書き初め大会に参加した舟渡愛莉ちゃん(7歳)。書き終えた後には、「おねえさん、おなかすいたー」とお茶目な愛莉ちゃんでした。

編集 後記

■受験の季節ですね。高校生の皆さんはある程度進路が決まり、中学生の皆さんはいよいよこれからですね。自分の力を発揮できるようにまずは体調を整えてがんばってくださいね。



渡辺洋一郎

■令和初の「春のセンバツ甲子園大会」に十勝からは初めての出場となる白樺学園高校・帯広農業高校おめでとうございませう！！



常通直人

■いま時期は「光の春」といわれるように、ひと足先に陽差しが春めいてきますね。



立川美穂

二月は「逃げる二月」ともいわれますが、私たちも好機を逃さぬよう引き続きしっかりと議論に取り組みます。

LINE@

友だちになってね!!
@memuro-gikai2014



芽室町議会の概要を紹介

スマートフォンサイト

▶ スマートフォンサイトを見る



公式 Twitter アカウント
@memuro_gikai



公式 facebook ページ
http://www.facebook.com/memuro.gikai